

教員免許状更新講習受講希望者 各位

奈良教育大学教員免許状更新講習運営委員会

選択領域【S008】世界遺産とユネスコの教育 担当講師の変更について

表記講習について、担当教員の変更がありましたのでお知らせします。

担当教員の変更に伴い、シラバスの内容も変更しています。受講希望の方は変更後のシラバスを確認のうえ、受講申し込みを行ってください。

記

【変更前】小テーマ④世界遺産教育とその可能性 担当講師 田淵 五十生

↓

【変更後】小テーマ④世界遺産教育とその可能性 担当講師 中澤 静男

問い合わせ先

奈良教育大学 企画連携課（地域連携担当）

E-mail koushin@nara-edu.ac.jp

電話 0742-27-9108

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

<S008>

講習名	主な受講対象者	時間	講習形態
世界遺産とユネスコの教育	全教諭	6H	インターネット講習 (オンデマンド型)
開設期間	講師名(所属・職名等)		
令和3年8月11日～10月11日	坂井 秀弥(奈良大学・名誉教授) 西山 要一(奈良大学・名誉教授) 中澤 静男(奈良教育大学・准教授)		
定員			
80人			
【講習の概要】			
日本に世界遺産が23サイトあるが、そのうち3件が奈良県に集中している。世界遺産の持つ意味を「世界遺産条約」に照らし合せて理解するとともに、どのような世界遺産が存在し、現在どのような問題が生じているのかなど、世界遺産を巡る諸問題を多角的に考えてみたい。また、近年の上滑りな「世界遺産ブーム」について批判的に検討したい。さらに、ユネスコが提唱する世界遺産教育についても紹介したい。世界遺産は単に観光資源だけでなく、豊かな教育資源に転化できる経緯について理解を深めたい。			
【小テーマ①】世界遺産の概要と日本の現状・課題 1.5H (担当講師:坂井 秀弥)			
講習形態	講義形式		
講習内容	日本では世界遺産が続々と誕生して話題になっている。その背景には地方自治体や国の地域・観光振興政策がある。地域住民が地域の歴史・文化を理解し、アイデンティティーの拠り所とすることは重要である。それとともに遺産の確実な保護も不可欠である。この授業では、世界遺産の制度と現状・課題のほか、日本の文化財保護制度との関連、文化財を活かしたまちづくり、市民・住民や学校教育との役割についても学ぶ。		
到達目標・確認指標	世界文化遺産の仕組みと現状・課題を理解し、日本における歴史を活かしたまちづくりのあり方について理解する。		
キーワード	地域観光振興、まちづくり、文化財保護法、市民・専門家・行政の三位一体		
【小テーマ②】世界遺産を巡る状況と保存問題―「危機遺産」、「負の遺産」を中心にして 1.5H (担当講師:西山 要一)			
講習形態	講義形式		
講習内容	戦争・災害・開発などにより破壊され、また損傷の恐れのある「危機にさらされている世界遺産」の現状と保存・修復を紹介し、世界遺産の保護・継承の重要性を認識する。また、戦争や人種差別に係る「負の遺産」を取り上げ、世界遺産が民族和解や平和の構築に寄与することを説く。		
到達目標・確認指標	世界遺産が、優れた人類の文化、貴重な自然の遺産であるとともに、保護し次世代に継承することの大切さを認識する。		
キーワード	危機遺産、負の遺産、保存・修復、継承		
【小テーマ③】持続可能な開発目標(SDGs)と世界遺産 1.5H (担当講師:中澤 静男)			
講習形態	講義形式		
講習内容	世界中で持続可能な開発目標(SDGs)の達成にむけた取組が進められおり、目標11に「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。」と明記されている。その努力の主体は一般市民である。一般市民の能動的な参加による世界遺産の保護・保全の達成が、持続可能な社会の実現と重なることを学ぶ。		
到達目標・確認指標	世界遺産の保全を通して、持続可能な社会づくりに関する3つの条件を理解する。		
キーワード	国際協力、技術とシステムの革新、参加型市民社会の実現		
【小テーマ④】世界遺産教育とその可能性 1.5H (担当講師:中澤 静男)			
講習形態	講義形式		
講習内容	世界遺産は単なる観光資源ではなく、SDGsの観点から光を当てることで持続可能な開発のための教育(ESD)の教育資源になることを、主に国内の世界遺産を例に解説する。多様な世界遺産のESD教材開発の解説から、世界遺産を見るときの視点、SDGsとの関連の方法などを考え合う。		
到達目標・確認指標	世界遺産教育の概念が理解できる、世界遺産の教材化のスキルが習得できる。		
キーワード	世界遺産教育の概念、ESD(持続可能な開発のための教育)、SDGs(持続可能な開発目標)		
試験方法	各小テーマの最後に10分程度の筆記試験を行います。		
成績評価の方法・基準等	各講義内容を理解して、自分なりに消化され、それに対して教育的な考察が加えられているか否かについて問います。 演習課題及び試験の成績で判断します。(演習課題10点+試験15点×4テーマ=100点満点) 評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		